

熊本県緑化推進委員会が進める「SDGs」の取組みについて

持続可能な開発目標(SDGs)とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なもので、日本としても積極的に取り組んでおり、ESG(環境・社会・企業統治)投資の面からも注目されています。

外務省のホームページから



「緑の募金」、「緑の募金事業」の実施に当たっては、SDGsのどの持続可能な開発目標に向けた施策であるかを明確にし、併せて発信していくことにより、SDGsの取組みを推進します。

熊本県緑化推進委員会が行う、森林の整備や緑化活動、青少年の森林環境教育への取り組みは、持続可能な開発目標のうち次のような目標に向けた取り組みとして活動を行っています。



森林の効用による目標の達成



貧困
林産物からの収入



飢餓
木の実や野生生物、農業ができる環境



健康
薬用植物の採取



水資源
飲料水や灌漑用水の安定供給



気候変動
二酸化炭素の吸収・貯蔵



陸の生態
生物多様性の確保

森林が失われることによる目標の損失



貧困
異常気象の増大被害



飢餓
雨量の減少
作物への障害



健康
森林火災による呼吸障害



エネルギー
発電ダムへの堆砂



インフラ
地すべり、洪水による被害



海洋
沿岸海洋資源の喪失